

関係各位

公益財団法人島根県建設技術センター理事長
[公印省略]

令和8年度 第1回土木技術講習会の開催について

当センターの運営につきましては、平素から格別のご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。さて、当センターでは、建設工事における技術水準の向上を図るため、建設技術に関する専門研修を行っていますが、このたび下記の講習会を開催します。つきましては、受講希望の方はとりまとめの上、当センターのホームページより申し込みください。

記

1. 日 時

令和8年5月11日(月) 10:10～16:20(受付9:40～)

2. 場所及び定員

松江会場:80名:くにびきメッセ 501 会議室 (松江市学園南1丁目2-1)

出雲会場:50名:出雲建設会館 大会議室(出雲市塩冶善行町2-2)リモート

西部会場:30名:サンマリン浜田 研修室A・B(浜田市原井町3050-9)リモート

隠岐会場:20名:隠岐建設会館 会議室

(隠岐郡隠岐の島町西町名田の四34-1)リモート

3. 主 催

公益財団法人島根県建設技術センター

4. 後 援

島根県土木施工管理技士会

5. 日程及び内容

『鋼橋の維持管理』

詳細は別紙のとおり

プログラムは予定です。講師・時間等が変更となる場合もあります。

6. 受講対象者

県・市町村職員、建設業技術者・コンサルタント技術者・その他

7. 申込期間

令和8年4月6日(月)～4月24日(金)16:00[Web 申し込み]

※申込は(公財)島根県建設技術センターホームページ(<https://www.sctc.or.jp/>)、
からできます。「受講申込方法(PDF)を確認ください。

8. 受講の可否

申込者多数の場合は、提出期限までに申し込みされた受講者の中から、申込書に記入されている各所属の優先順位を考慮して受講者を決定しますので、優先する順に受講者名を入力ください。

受講の可否については**4月27日(月)16時**にマイページにてお知らせします。

申込み責任者がマイページを確認ください。

9. 受講の変更・取消

受講者の取消をされる場合は**入金締め切り日まで**、また、変更は**受講日の受付開始前までに**手続きしてください。

10. 受講料

6,050円(税込)

受講料を**5月1日(金)15時まで**に下記の口座宛にご入金ください。

振込先

山陰合同銀行古志原支店 (普)098-2432156 (公財)島根県建設技術センター事務局長

11. 携行品

受講通知書(QRコード)、**本人確認ができるもの(顔写真付き)**、筆記用具
入金確認後、受講通知書(QRコード)を5月1日(金)17時までに発行します。マイページからダウンロードして印刷するかスマートフォンに保存して当日お持ちください。

12. 受講証明

この講習会は CPD および CPDS プログラムに登録しています。

CPD単位【申請中】 CPDSユニット【申請中】

会場で配布する「受講確認シート」の入力を確認後、受講証明書を発行しますので、マイページからダウンロードしてください。

13. その他

- ・各会場は駐車場に限りがありますので、可能な方は公共交通機関をご利用ください。
- ・本講習会は JCCA(一社)建設コンサルタンツ協会の HP に『ライブ配信あり』と掲載がありますが、3か所(出雲、浜田、隠岐)のサテライト会場への配信のみで、個別のライブ配信はありません。

問い合わせ先

〒690-0012 松江市古志原 4-1-1

(公財)島根県建設技術センター

業務部: 福田・江角

TEL(0852)21-9918 FAX(0852)21-9938

E-mail:skengi-kensyu@sctc.or.jp

令和8年度 第1回土木技術講習会

『鋼橋の維持管理』

日時：令和8年5月11日（月） 10：10～16：20（受付9：40～）

場所：東部会場：くにびきメッセ 501会議室（松江市学園南1丁目2-1）

出雲会場：出雲建設会館 大会議室（出雲市塩冶善行町2-2）リモート

西部会場：サンマリン浜田 研修室A・B（浜田市原井町3050-9）リモート

隠岐会場：隠岐建設会館 会議室（隠岐の島町西町名田の四34-1）リモート

主催：（公財）島根県建設技術センター

後援：島根県土木施工管理技士会

講師：（一社）日本橋梁建設協会

スケジュール及び内容

時間	項目	内容	講師
10:10～ 10:20	開会挨拶	開会挨拶および講師紹介	建設技術センター
10:20～ 12:00	鋼橋の補修・補強 における留意点	<ul style="list-style-type: none">・鋼橋の主な損傷と補修・補強の留意点・補修現場から見た留意点・古い橋を補修する際の留意点・補修・補強事例から見た留意点	（一社）日本橋梁建設協会 保全西日本部会 本間 大介 氏 （日本車輛製造(株)）
12:00～ 13:00		昼 食 休 憩	
13:00～ 13:50	鋼橋床版の劣化と 保全	<ul style="list-style-type: none">・コンクリート系床版の劣化・損傷メカニズム・コンクリート系床版の点検技術・コンクリート系床版の点検における留意点・補修、補強方法	（一社）日本橋梁建設協会 床版施工部会 浅野 純 氏 （株）IHI インフラスクエア
13:50～ 14:00		10分 休 憩	
14:00～ 15:00	鋼橋の腐食とその 対策	<ul style="list-style-type: none">・腐食についての説明・防食の考え方・塗装塗替えの考え方と手順・腐食補修の施工事例	（一社）日本橋梁建設協会 保全西日本部会 八代 茂 氏 （株）横河ブリッジ
15:00～ 15:10		10分 休 憩	
15:10～ 16:10	鋼橋保全工事におけ る難条件克服事例 ～難条件を種々の工 夫で乗り越える～	<ul style="list-style-type: none">・施工時間、施工スペース、設計条件など、さまざまな制約がある中で施工された保全工事事例の紹介	（一社）日本橋梁建設協会 保全西日本部会 永岡 弘 氏 （株）IHI インフラスクエア
16:10～ 16:20	質疑応答	質疑応答・閉会	建設技術センター

携行品：受講通知書（QRコード）、本人確認ができるもの（顔写真付き）、筆記用具